

## 令和7年度 安芸市立小学校移転・統合 説明会

### 意見一覧

場 所	開催日 (19:00 開始)	参加人数	ページ
<a href="#">下山小学校 (2階児童会室)</a>	R8. 1. 13	(保護者) 0人 (住 民) 4人	1
<a href="#">伊尾木小学校 (2階図書室)</a>	R8. 1. 20	(保護者) 3人 (住 民) 4人	2
<a href="#">川北小学校 (南舎2階パソコン室)</a>	R8. 1. 15	(保護者) 5人 (住 民) 9人	4
<a href="#">土居小学校 (2階音楽室)</a>	R8. 1. 22	(保護者) 11人 (住 民) 4人	6
<a href="#">井ノ口小学校 (多目的室)</a>	R8. 1. 27	(保護者) 4人 (住 民) 6人	7
<a href="#">安芸第一小学校 (西体育館)</a>	R8. 1. 29	(保護者) 6人 (住 民) 6人	8
<a href="#">穴内小学校 (ランチルーム)</a>	R8. 2. 3	(保護者) 1人 (住 民) 6人	10
<a href="#">赤野小学校 (3階パソコン室)</a>	R8. 2. 5	(保護者) 3人 (住 民) 7人	11

安芸市立小学校移転・統合について 令和7年度説明会 意見一覧  
(旧清水ケ丘中学校区)

○下山小学校

(地域保護者 0人)

(地域住民 4人)

- ・ 津波が来る安芸第一小学校はかさ上げしても通学路は安全でない。ごめんなはり線を活用し、沿線の穴内小学校、球場前駅の上の高台、国民宿舎跡地や大山の公園に駅をつくりケーブルを付ければ登校できる。
  - ・ 高台に施設があれば他の人もその小学校で助かるということになります。
  - ・ 1校か2校かと言われれば2校体制。1校だけにすると働くところも減るし、避難する施設の面でも、2つの拠点があるということは助かる。1つだけにすると他の所を選べなくなる。
  - ・ 2校建てても、何年か後にはまた、生徒がこれ位減ってきたら、子どものことも考えて1校にという声が出てくると思います。
  - ・ 安芸第一小学校は避難所的な役割も持つのですが、かさ上げしても完全にあそこは島になって孤立してしまう。迎えに行くこともできない、津波から逃れても、孤立せず周りからも支援が受けられるような場所が必要です。
  - ・ 駅の周辺だと液状化が必ずあると言われ、それから離れた高い場所の方がいい。旧清水ケ丘中学校は、行くまでが川の近くなので、駄目になってしまうと思うし、道が1本ぐらいしかないので厳しいと思う。
  - ・ 将来的には1校でもいいと思った。
  - ・ 1校でも2校でもスクールバスは絶対です。
  - ・ 高齢になったら、子どもは宝。運動会に来て、催しをしてきて、その交流は金では買えないと思う。
  - ・ 無くなるのには本当は反対したい。地域の拠点としても、楽しみも、副次的な喜びも感じてみんなで協力し合って、小学生と一緒に、(小学校は)本当は莫大な福祉と思います。
- ※ 川北地区の住民の意見は、同じ意見をより詳しく述べた川北地区に記載します。

## ○伊尾木小学校

### (地域保護者 3人)

- ・ 海が近く児童数が少ないといった不安を取り除いてくれれば、伊尾木小学校でもいいと思う。少人数でもいい、伊尾木保育所の横が一番いいと思う。
- ・ 伊尾木保育所横に避難場所兼小学校ができるのが一番いいと思う。人数がいる学校は、統合して初めは、保護者、児童が荒れるという面も気になる。
- ・ 平成26年から小学校の統合の話があり、対応が遅い。
- ・ 地域に関わりを持てるようにしてくれたら、地域の方も納得してくれると思う。
- ・ 旧清水ヶ丘中学校跡地に建てないにしても、今ある校舎を早く取り壊してはどうか。短縮できる場所があれば短縮して欲しい。
- ・ 保護者としては、仮校舎でもいいので、ここから別の小学校に一番早く移る。海から離れる。なんなら奈比賀に全員行くとか。絶対に津波の心配ない。

### (地域住民 4人)

- ・ (説明会に)人が集まらないということが一番良くない。たったこれだけの意見で発表されるのはいかなものかと思う。
- ・ 人数的には1校ともなるが、広さや地域からすると、どうかと思う。小規模特認校の視察に行ったが、小規模校、複式学級であっても教育の度合いは、安芸市よりずっと上だった。8校分の交付金が出ていることも皆さんは知らないと思う。1校でなく、2校、3校、地域を生かすことを考えないといけない。
- ・ 伊尾木は小学校、保育園に協力してもらって、どこにも負けない地域で、活性化してきたが、小学校が無くなったら、そういうことも一切できません。学校あつての地域、地域を盛り上げていく部分が無くなる。地域が廃ったら、安芸市が廃る。要は地域が活性化したら安芸市が活性化していく。統合の方針は反対のこと。
- ・ 安芸第一小学校は、かさ上げして浸水区域外にできるので児童に危険性はない。津波火災もピロティにして抜けたら大丈夫だ。
- ・ 小規模特認校にして保育所横の避難所に建てたらいい。特認ならよそから受け入れができる。
- ・ 伊尾木小学校は複式もあつて、子どもは恵まれている。大きな学校よりも、仲間外れにもならず、いじめにもならず、地域から支援も応援もしてくれて、子どものためには良いと思う。
- ・ 学校が無くなる前提では伊尾木で住むと言う人がいなくなる。
- ・ 統合したら不登校の生徒が増えるのが心配。
- ・ 地域外からの生徒をまず集め、伊尾木保育所周辺の避難所の敷地を特認校の予定地として学校を建て、避難場所にも活用し、高速を利用した通学路、津波に対しても安心して通行ができるので、伊尾木保育所横を選定してもらいたい。
- ・ 子どもとの触れ合い、地域の見守り等々が薄れてくると、その地域の社会生活が冷え込んでくるので、学校がなるべく少なくならない施策をとっていただきたい。
- ・ 何校でもいいとの話なら別だが、1校、2校の話なら子どもの命を守るために早く進めないと、平成29年からひとつも変わっていない、意見を聞いてずるずる伸ばして

いる。

- ・ 伊尾木保育所の横は、整地ができていますので即建てられる。
  - ・ 保育所横と言っても持って行かない。それなら安芸第一小学校のかさ上げと旧清水ヶ丘中学校でいい。
  - ・ 津波がいつくるのか分からないので、学校が遠くなれば、危険度が高くなる。近いほど危険度は低くなる。避難場所に建てたらいい。それが一番早い。
- ※ 川北地区の住民の意見は、同じ意見をより詳しく述べた川北地区に記載します。

## ○川北小学校

### (地域保護者 5人)

- ・ 児童がとても減っていると思うので、現実的に考えたときに1校にするのが妥当と思う。市立安芸中学校付近、旧清水ヶ丘中学校どちらにしても構わないと思う。地域とのつながりをどう維持していくのかを、重点的に考えた方がいいかと思います。レベルがちゃんとした学童保育を作って欲しい。スクールバスや通学の問題が難しいと思う。
- ・ 下山や伊尾木の数になってくると、またそこから1校にしようかとなる可能性がある。建てたのに数年で無駄になってしまうことを考えたら、3校4校残すのか、最初から1校にするのか、そういったことも考えないといけない。

### (地域住民 9人)

- ・ 市は資料を作ってきて、市民は丸腰で参加している、それで意見が言えるのかと。(前回)川北地域の人も一生懸命言っていた、それは反対の意見だと思う。そういう気持ち、血の温もりとか地域と子どもたちのことを説明者は受け止めてくれていない。
- ・ おひさま保育所のような7億の木造の校舎を4校建てれば28億でできる。住み替えてもらって、若い世代の住宅も置いてもらって、旧清水ヶ丘中学校に川北地区で100人、下山・伊尾木地区に100人、市役所付近の土居地区に100人、赤野・穴内地区に100人
- ・ 1校は絶対に反対です。川北小学校がこんなに地域とつながっている。統合してから川北の子どもたちだけ地域に出すようなことは無理だと思う。学校になじまない、いじめに合う、それで不登校になる。他の学校はこの子どもたちの受け皿になっている。
- ・ スクールバスを使うというのは、子どもはバスに乗ったら勝ちだと思う(課題をやらなくていい)学校にとっては良くない。運行管理も大変。市なのだから、複数校、多い方が良くと思う。
- ・ 1校にするというのは、いろんな子どもに無理がある。2校でも無理がある気がする。1校にするなら、メリットである学習面、生活面や学校経営が本当に実現できるか非常に疑問、1校は無理だと思う。遠いところへの通学は子どもにとって体力、学習面で無理がある。勉強がしやすく、地域ともつながりやすい、そういう学校の運営がいいと思う。
- ・ 地域とのつながりは、地域の大人も元気をもらえる。子どもも大人との接点があるなら効果的なものにつながってくる。1校ないし2校になっても、どう地域とつながりを作るのか。子どもがいなくなる、このような大きな建物(校舎)をどう活用するのか、地域も考えないといけないが、1校では無理がある。
- ・ 小学校がたった1校しかなく、1年生からバスで通わないといけないところで、若い人が子育てしたいと思うのかと思う。8校をそのまま残せというのは現実的ではないかもしれないが、コミュニティがあり地域とつながれるというのは子どもにとっては大事な居場所と思う。
- ・ 1校にすることが小学生にとって本当に幸せなことには思えない。小学生が1校に集まれば不登校になる。子どもを大事にする、増やしていくことを考えていけば、人数

がこんなになったから1校で良いじゃないか、お金も少なくて済む、そんな考えでは子どもが育たないし、安芸市に来て住もうという気持ちにならないと思う。1校は絶対に反対です。

- 地域にいれば安全に生活して、安全に学校に通える環境づくりができる。複式学級でもよく教育できている。1校に集めないと切磋琢磨できないということはない。
- 1校だと遠距離で、通うのは無理。かわいそうだ。2校になっても負担はあるだろうが、子どもの数とか津波とか最大限考えてあるかもしれない。できれば3つでもいいかもしれない。
- 地域の間人として学校として機能しながら地域と関われる、そういった場面がなくなってしまうと、高齢者を含めて子どもや学校とのつながりが遮断される。それをどうつなげるか、地域で子どもを育てるというが、つながっていくか、心配しています。

## ○土居小学校

### (地域保護者 11人)

- ・ 何とかもっと早く（移転統合）できないのかなと思う。空き教室もあるので何かできる話があってもいいかと思う。早くして欲しい、前回の意見一覧にもある、なるべく早くして欲しいというのは間違いないと思う。
- ・ 一緒に保育園も隣接して建てると保幼小の連携もでき、予算も少なくて済む。統合してもいいと思う。連携して一緒に検討した方が、効率がいいのではないか。
- ・ 先送りにするべきではないと感じた。（地域で）結論を急がないで欲しいという声もある一方で親は急ぎたい、何よりも早くという気持ちもあると思う。バランスをとりながらやってもらいたい。
- ・ 旧清水ケ丘中学校となれば通学路となる道路の整備が必要となる。
- ・ 旧清水ケ丘中学校は、通学に微妙な面があるが、広く海拔もあり、何かあった場合にも上に逃げる道があるので、すごく立地がいい。できれば活用して欲しい。
- ・ スクールバスの対象 2km について旧清水ケ丘中学校の場合、低学年のことは検討しなければいけないと思う。
- ・ 子どもたちが思いっきり動ける（広い）学校を作ってもらいたい。

### (地域住民 4人)

- ・ 地域に守られて歩いて通学して、子どもたちがそこで生まれ、大きくなっていく。特に小学校は、それが必要。何よりも命を優先しなければいけないので、統合ということは必要かもしれません。スクールバスによって違う地域に通う子どもたちの負担に配慮が必要。心も大事だと思う。
- ・ 結論を急ぎすぎず、話し合いを持っていただきたい。
- ・ 受入れる先生の専門的な教育面での意見を聞いてほしい。
- ・ いつまでもうちの地区に一つずつ小学校と言っていない。まず安全なところへ建てたいし、皆さんが納得する案がない、どこかで折り合いをつけないといけない。
- ・ スクールバスは予算の都合で子どもにしわ寄せがいかないようにしてほしい。

## ○井ノ口小学校

### (地域保護者 4人)

- ・ 市立安芸中学校（付近）の場合は高台が無い。想定外の津波が来たときに、それ以上に逃げる場所が無いと子どもたちが絶望の気持ちになるかと考えたら、少しでも山がある場所、旧清水ケ丘中学校だったらまだ上に登れる所がある。子どもたちが自分たちでもっと高い所に逃げられるような場所にしてもらえれば保護者として、すごくありがたい。

### (地域住民 6人)

- ・ 中学校の統廃合の問題と小学校の場合は違う。中学校の場合は広い範囲の縮小だが、小学校の場合は小さい学校を無くしていく。井ノ口小学校を統廃合しないといけない理由は一つもない。
- ・ 井ノ口地区の住民は、学校が無くなったら地域が冷える、どうして統廃合を考えたのかという声が圧倒的。統廃合だけで考えず、人口問題と地域の活性化も含めて考えることも大事である。
- ・ 井ノ口小学校の保護者、地域の話を見ると、もう統合は仕方がないと僕が聞く声では多い。
- ・ 地震の災害に備える命の問題が一番、優先順位としては先だと思う。本当に早くしてあげないといけない。財政の問題も全部絡むことなので非常に難しいがリーダーシップを取って決めていかないといけない。
- ・ 災害の言い伝え等から津波の可能性を考えると、中学校のあたりも不安。1校に固めるメリットもあると思うが、リスク分散も必要である。
- ・ 安芸第一小学校をかさ上げして、本当に大丈夫なのかと思います。
- ・ 旧清水ケ丘中学校の所は暗くて嫌だと思っていましたが、子どもが絶望しないで逃げる場所を探せるということは確かにそうだと思う、市立安芸中学校の隣と思っていたが旧清水ケ丘中学校がいいと思う。安芸第一小学校は屋上に逃げたらそれ以上が無い。
- ・ 6月に決めるのは早すぎる、参加者も少なく考える時間が必要、延ばしてもらう必要があるのではないか。小学校1校は余りにも寂しい。安芸第一小学校に建てるのも危険、大きい学校は動きが鈍くなる、もしもの時を考えると少ない方がいい。伊尾木小学校、赤野小学校は緊急な気持ちがある、まずそこを何とかする。
- ・ 保育（統合）と連携を図っていただけたらいい。
- ・ 支援が必要な子どもさんが十分なケアが受けられていないという面もあるのかもしれないので、統合するのであれば、そういったところのメリットを伸ばしていただきたい。中学校の不登校問題は小学校からの継続というところもあると思うので、不登校に対しても力を入れて解消に向けていただければと思います。

安芸市立小学校移転・統合について 令和7年度説明会 意見一覧  
(旧安芸中学校区・赤野小学校)

○安芸第一小学校

(地域保護者 6人)

- ・ 津波浸水想定区域内にある学校はできれば移転するのが望ましいが、井ノ口小学校は、そのままでいいと思う。小規模校の良さもあると思う。3校でも4校でも、残せるものを残した方がいい。
- ・ 1校の場合は、旧清水ケ丘中学校跡地も市立安芸中学校付近も金額がほとんど変わらない、道路環境等からも旧清水ケ丘中学校への移転はちょっと無いと考える。2校の場合は、市立安芸中学校横と安芸第一小学校が妥当と思う。
- ・ 安芸第一小学校は地域全体の避難場所として、補強の上、確保した方が良く思う。
- ・ 旧安芸中学校の予定は無いのか。津波が来たら三階とかに逃げられる。奥に（北に）引っ込んで助かるのかという疑問がある。
- ・ 多く住んでいる地域に学校、病院があればいいと思う。学校も2校が良いと思う。
- ・ 親としては、どんな状況であれ安全に命を守ってもらいたい。地域から学校が無くなる悲しい思いをされる方もいると思うが、命を守ってもらえることを考えて欲しい。安全な場所に建つとありがたい。
- ・ 保育、中学校、小学校が近くにあれば、災害時、そうでない時も連携面でメリットが有る。

(地域住民 6人)

- ・ 安芸市の広報で例えば、穴内小学校、赤野小学校では、地域等を大事にし、小規模校の良さを生かしている。コスト面で無くす印象を受ける。子どもの教育活動、地域のことを総合的に判断していただきたい。
- ・ 小学校を地域から切り離して、2校、1校にした時に、人口が急激に全体として減るのではないかということに危惧する。
- ・ 移転統合の予算を今の小学校に使って、駄目だったら移転統合した方が得策。児童が少ない学校をケアした方がいい。
- ・ 地震の予想はいつでもよい、起こった時にどうするか。それを保護者に伝えないといけない。

## ○穴内小学校

### (地域保護者 1人)

- ・ 1校2校がダメと言うつもりもなく、人数が減っているので1校でもいいとは思いますが、学校の先生の側からのどちらが良いのか考えてもらえれば子どもに反映される。
- ・ 穴内に小学校があったらいいが、修学旅行等も含め、1つの学校なら1年生のときからいろんな友達も知ることができていいと思う。
- ・ スクールバスは全員が乗れるように考えてもらいたい。
- ・ 旧清水ヶ丘中学校よりは、市立安芸中学校付近がいいと思うが、市道中道線は小学校を建てたら車の台数が増えるので、交通安全面がどうかと思う。
- ・ 学童が終わった後のスクールバスも検討をして欲しい。

### (地域住民 6人)

- ・ 去年の穴内地区の意見としては、1校体制が将来のことを含めて良いのではとなった。
- ・ 小中学校がある程度揃って有る環境が、建設費や期間があまり変わらないのであれば、そちらの方（市立安芸中学校付近）がいいと思った。
- ・ スクールバスと元気バスとの併用による効率的でスムーズな運用も考えていただきたい。
- ・ 教育部門、産業部門、環境部門を包括した安芸市としてビジョンを1つ持ち、バランスの取れた提案をして欲しい。教育委員会だけでなく関係する課が全部来て市全体をどうするかの説明が必要である。
- ・ 地域を残すことをまず話し合わなければならない。それから小学校、保育をどうするか入ってもらいたい。子どもを増やす政策、説明が無い。地域から子どもの声が消えると安芸市は終わる。安全だから山への発想で決められると困る。全部1からやり直さないといけない。今のままで上等だ。
- ・ 2校体制の（移転統合の）予算は他に使った方が良い。
- ・ 地域の中で小学生がいない所が沢山ある。人の話を聞いて受け入れて、学び合うのが、一番生きた授業だと思う。1校で良いと思う。
- ・ 旧清水ヶ丘中学校は良いイメージを持っていない。旧安芸中学校でできないかと思う。
- ・ 今度の1年生は1人、切磋琢磨、勉強、友達関係を大切にしてもらいたい。大人数の中で学習させてもらいたく現状を考えると1校で良いと思う。場所は市役所、市立安芸中学校付近でいい。
- ・ コストがあまり変わらないのなら、市立安芸中学校付近であれば、設備施設の共有が可能。世代間交流、コスト面でも。
- ・ （廃校）をしっかりと活用する計画も統合と合わせてしっかり考えていただきたいと思う。
- ・ 1校の小学校となると、保護者が選択できない。
- ・ 廃校を活用して、しっかりと地域との関わりや文化を継続していけるような仕組みづくりを検討してもらいたい。
- ・ 慌てて統合する必要はない。学校を減らすのは後回しで良い。今地域が一生懸命頑張っているから今できることを考えてほしい。

- 学校教育課だけの突出した話だけで決めていくのはおかしい。企画財政とか産業部門といったものと詰め合わせをした中で話を作っていくのが大事である。
- 安上がりの建物も検討し、どうすれば子どもたちにとって、学校生活ができるか、それから命をつなげるか、そういったものを考えるところが大事である。

## ○赤野小学校

### (地域保護者 3人)

- ・ 統合は構わないが、赤野に学校を作るか残して欲しい。すべて白紙にして、検討を願いたい。
- ・ 最初の時点（検討委員会）から地域住民の入り、意見を聞く必要があった。
- ・ 行政として、地域がどう活動し、どう子どもと接して、どう取り組んでいるか、そこに目を向けるべきである。
- ・ パブリックコメント（意見公募）もやらなければいけない。
- ・ 赤野小学校を残し、地域の方ともつながっていたいが、子どもがあまりいない、これから入学させること、津波のことも考えたら統合を進めてもらいたい。地域とのつながりを残し続けていけるような活動の取り組みをしてもらいたい。
- ・ 1校にするのは、そこしか選べない、それはどうかと。小規模の良さも考えてもらいたい。
- ・ 津波区域の小学校に通わせるのは、いつ地震が来るかわからないので怖い。
- ・ 送り迎えをしないといけないのかと思うと、住みにくい。子育てをしやすい安芸市にしてもらいたい。
- ・ 液状化の可能性大となれば怖い、可能性無の市立安芸中学校付近が強いかと思う。
- ・ 低い所より高い所の方が、気分的にも安心で安全です。

### (地域住民 7人)

- ・ 学校があって地域がある、地域とのつながりもたくさんある。学校を残せるなら残して欲しい。最大限、小さな学校で子どもが成長していけるようにつぎ込んで欲しい。
- ・ 全国で小さな学校ばかりになってくるので、そんな学校が活かされるような行政をして欲しい、地域とつながっているのでも何とか残ることを考えて欲しい。
- ・ 津波の対策もしているのに、すぐ統合する必要があるのかと思う。
- ・ スクールバスは渋滞で難しいところもある。地元でやった方がいろんな面で便利がいい。
- ・ （参加人数が）少ないのは地域の住民の諦めがあり、行政に大きな課題がある。行政が地域を盛り上げることを考えないと。地域から子どもがいなくなったら、地域の活性化はない。
- ・ 校舎もある、耐震もできている、津波も練習している、（高台に）近いので、ボロの校舎でもいい、赤野から学校を無くさないように。
- ・ 小規模校と大規模校にしたらどうかと思う。大人数がしんどいという子は確実にいる。
- ・ 国の指針に沿った人数で無く、安芸市として特色のある学校、方針で学校作る方がもっといい。
- ・ 遠距離通学は残酷。（均等な教育を言うが）通学は均等か、どれだけの負担を払わなければならないのか。
- ・ 保育園、小学校となぜ子どものことを一括で考えないのか。一緒にやったらメリットがある。小学校も中学校も一緒にしたらいい。新しい中学校は小学校も入って勉強できるくらい広い、いっぱい部屋がある。